

商品 ¥1,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。なお、当座預金の預金残高は ¥700 であるが、取引銀行と限度額 ¥5,000 の当座借越契約を結んでおり、二勘定制を採用している。

当座借越

問題 1

A

前期に計上した売掛金のうち ¥9,000 が取引先の倒産により回収不能となったため、貸倒れとして処理した。なお、貸倒引当金勘定の残高は ¥4,000 であった。

貸倒れ(前期発生債権)

問題 6

B

千葉商店より商品 ¥5,000 を仕入れ、注文時に支払った手付金 ¥1,000 を差し引き、差額のうち ¥2,000 は埼玉商店振出しの約束手形を裏書譲渡し、残りは掛けとした。

前払金・手形の裏書

問題 2

A

前期に貸倒れとして処理していた長崎商店に対する売掛金 ¥3,000 のうち、¥2,000 が回収され、当座預金の口座に振り込まれた。

償却済債権の回収

問題 7

B

先日、掛けて仕入れていた商品 20 個(@ ¥100)のうち、6 個が品違いであったため、仕入先に返品し、代金は掛代金から控除した。

仕入返品

問題 3

B

得意先振出しの約束手形 ¥5,000 を取引銀行で割り引き、割引料 ¥200 を差し引かれた残額が当座預金に振り込まれた。

手形の割引

問題 8

A

青森商店に対し商品 ¥2,000 を販売し、代金のうち ¥1,000 は注文時に受け取っていた内金を充当し、¥1,000 は岩手商店が振り出した約束手形の裏書譲渡を受けた。なお、発送のための諸費用(当店負担) ¥100 は現金で支払った。

前受金

問題 4

A

関東商事株式会社の株式 100 株を 1 株につき ¥70 で買入れ、代金は買入手数料 ¥100 とともに月末に支払うことにした。

有価証券の購入

問題 9

B

栃木商店へ商品(原価 ¥800、売価 ¥1,300)を掛けて販売した。なお、商品売買取引の処理は分記法による。

分記法

問題 5

B

額面 ¥100 につき ¥96 で買入れた東海商事株式会社の社債のうち、額面総額 ¥5,000 を額面 ¥100 につき ¥98 で売却し、代金は月末に受け取ることとした。

有価証券の売却

$$\begin{aligned} \text{① } & ¥5,000 \times \frac{¥96}{¥100} = ¥4,800 & \text{② } & ¥5,000 \times \frac{¥98}{¥100} = ¥4,900 \end{aligned}$$

問題 10

A

貸倒れ(前期発生債権)

貸倒引当金	4,000	売掛金	9,000
貸倒損失	5,000		

- ① 貸倒引当金の減少 4,000 / 資産の減少 9,000
 ② 費用の増加 5,000

- ① 前期発生した売掛金が貸倒れ → 「貸倒引当金」の減少
 ② 貸倒額が貸倒引当金の額を超える額 → 「貸倒損失」の増加
 $\text{¥}9,000 (\text{貸倒額}) - \text{¥}4,000 (\text{貸倒引当金}) = \text{¥}5,000$

CHECK!

- ★前期発生した売掛金の貸倒れ → 「貸倒引当金」の減少
 ★当期発生した売掛金の貸倒れ → 「貸倒損失」(費用)の増加

B

問題 6 解答

償却済債権の回収

当座預金	2,000	償却債権取立益	2,000
------	-------	---------	-------

- 資産の増加 2,000 / ① 収益の増加 2,000

- ① 前期に貸倒れの処理をした売掛金の回収
 → 「償却債権取立益」の増加

CHECK!

- ★前期に貸倒れの処理をした売掛金の回収
 → 「償却債権取立益」(収益)の増加(売掛金としないように!)

B

問題 7 解答

手形の割引

当座預金	4,800	受取手形	5,000
手形売却損	200		

- 資産の増加 4,800 / ① 資産の減少 5,000
 ② 費用の増加 200

- ① 手形の割引 → 手形の譲渡 → 「受取手形」の減少
 ② 銀行への割引料 → 「手形売却損」の増加

CHECK!

- ★手形の割引料 → 「手形売却損」(費用)の増加

A

問題 8 解答

有価証券の購入

有価証券	7,100	未払金	7,100
------	-------	-----	-------

- ① 資産の増加 7,100 / ② 負債の増加 7,100

- ① 1株 ¥70 × 100株 + 買入手数料 ¥100 = ¥7,100
 ② 商品以外の代金の未払 → 「未払金」の増加

CHECK!

- ★有価証券の取得原価には買入手数料を含める。
 ★商品以外の代金の未払 → 「未払金」
 ⇨ 商品代金の未払 → 「買掛金」

B

問題 9 解答

有価証券の売却

未収入金	4,900	有価証券	4,800
		有価証券売却益	100

- ① 資産の増加 4,900 / ② 資産の減少 4,800
 ③ 収益の増加 100

- ① 売却価額: $\text{¥}5,000 (\text{額面}) \times @ \text{¥}98 / @ \text{¥}100 = \text{¥}4,900$
 ② 帳簿価額: $\text{¥}5,000 (\text{額面}) \times @ \text{¥}96 / @ \text{¥}100 = \text{¥}4,800$
 ③ 売却損益: ① ¥4,900 - ② ¥4,800 = ¥100 (益)

CHECK!

- ★商品以外の代金の未収 → 「未収入金」⇨ 商品代金の未収 → 「売掛金」
 ★売却による利益 → 「有価証券売却益」⇨ 「有価証券売却損」

A

問題 10 解答

当座借越

仕入	1,000	当座預金	700
		当座借越	300

- 費用の増加 1,000 / ① 資産の減少 700
 ② 負債の増加 300

- ① 小切手の振出 ¥1,000 → 「当座預金」の減少
 ただし、預金残高が ¥700 のため、仕訳の金額も ¥700
 ② 不足額 ¥300 → 銀行から借りる → 「当座借越」の増加

CHECK!

- ★二勘定制 … 「当座預金」(資産)と「当座借越」(負債)
 ⇨ 一勘定制 … 「当座」

A

問題 1 解答

前払金・手形の裏書

仕入	5,000	前払金	1,000
		受取手形	2,000
		買掛金	2,000

- 費用の増加 5,000 / ① 資産の減少 1,000
 ② 資産の減少 2,000
 負債の増加 2,000

- ① 注文時に支払った手付金の充当 → 「前払金」の減少
 ② 手形の裏書譲渡 → 「受取手形」の減少

CHECK!

- ★注文(発注)時に支払った手付金 → 「前払金」
 ⇨ 注文(受注)時に受け取った手付金 → 「前受金」

A

問題 2 解答

仕入返品

買掛金	600	仕入	600
-----	-----	----	-----

- ② 負債の減少 600 / ① 費用の減少 600

- ① 仕入れた商品の返品 → 「仕入」の減少
 ② 返品により仕入債務が減少 → 「買掛金」の減少

CHECK!

- ★仕入返品・仕入値引 → 仕入時の仕訳の貸借反対の仕訳
 ★売上返品・売上値引 → 売上時の仕訳の貸借反対の仕訳

B

問題 3 解答

前受金

前受金	1,000	売上	2,000
受取手形	1,000		
発送費	100	現金	100

- ① 負債の減少 1,000 / 収益の増加 2,000
 資産の増加 1,000
 ② 費用の増加 100 / 資産の減少 100

- ① 注文時に受け取った内金の充当 → 「前受金」の減少
 ② 当店負担の発送費用 → 「発送費」(「支払運賃」)の増加

CHECK!

- ★注文(受注)時に受け取った内金 → 「前受金」
 ⇨ 注文(発注)時に支払った内金 → 「前払金」

A

問題 4 解答

分記法

売掛金	1,300	商品	800
		商品売買益	500

- 資産の増加 1,300 / ① 資産の減少 800
 ② 収益の増加 500

- ① 商品の販売 → 「商品」の減少
 ② 商品の販売による利益 → 「商品売買益」の増加
 $\text{¥}1,300 (\text{売価}) - \text{¥}800 (\text{原価}) = \text{¥}500 (\text{利益})$

CHECK!

- ★分記法 … 商品の仕入時 → 「商品」(資産)の増加
 商品の販売時 → 「商品」(資産)の減少

B

問題 5 解答

店舗拡張のため、土地 100m² を 1 m² につき ¥50 で購入し、登記料 ¥200 および仲介手数料 ¥800 とともに、代金は小切手を振り出して支払った。

固定資産の購入

問題 11

A

商品 ¥3,000 を販売し、代金は現金 ¥1,000、当店発行の商品券 ¥1,500 および他店発行の商品券 ¥500 を受け取った。

商品券・他店商品券

問題 16

B

期首に、車両（取得原価 ¥1,000、減価償却累計額 ¥600、間接法で記帳）を ¥500 で売却した。なお、代金については月末に受け取ることにした。

固定資産の売却

問題 12

B

得意先福井商店に対して期間 6 カ月、年利率 5 % の条件で ¥2,000 を貸し付けていたが、本日満期日のため利息（月割計算）とともに同店振出しの小切手で返済を受け、ただちに当座預金に預け入れた。

貸付金と利息

¥2,000 × 5% = ¥100

問題 17

B

従業員が出張から戻り、旅費の残額として ¥300 を現金で受け取った。なお、出張にあたって、従業員には旅費の概算額 ¥700 を手渡していた。

仮払金の精算

問題 13

B

営業用の自動車にかかる自動車税 ¥300 および店主の所得税 ¥700 を現金で納付した。店主の個人負担である支出は引出金勘定を用いて処理する方法による。

引出金

問題 18

A

前月末に得意先より ¥500 が当座預金に振り込まれ、その内容が不明であったため、仮受金として処理していたが、本日得意先から連絡が入り、売掛金回収額であることが判明した。

仮受金の処理

問題 14

A

決算にあたって、当期首に取得した備品（取得原価 ¥1,000、残存価額は取得原価の 10%、耐用年数 3 年）の減価償却を行う。償却方法は定額法により、間接法で記帳している。

決算

減価償却

仕訳の金額 → ¥300

問題 19

A

従業員に給料総額 ¥8,000 を支給し、所得税の源泉徴収分 ¥800 と従業員への立替分 ¥700 を差し引いた手取額を、当座預金口座から従業員の普通預金口座に振り込んだ。

給料の支払

問題 15

B

決算にあたって、借入金 ¥6,000 の利息を見越計上する。なお、この借入金は、当期の 10 月 1 日に、利息（年利率 4 %）は返済時（翌期の 9 月 30 日）に支払う条件で借り入れたものである。（決算日 12 月 31 日）

決算

費用の見越

仕訳の金額 → ¥60

問題 20

A

商品券・他店商品券

現金	1,000	売上	3,000
商品券	1,500		
他店商品券	500		

資産の増加	1,000	収益の増加	3,000
① 負債の減少	1,500		
② 資産の増加	500		

- ① 当店発行の商品券による売上 → 「商品券」の減少
- ② 他店発行の商品券による売上 → 「他店商品券」の増加

CHECK!

★商品券の発行時 → 商品引渡義務 → 「商品券」(負債)の増加
→ 商品券による商品販売時 → 「商品券」(負債)の減少

B

問題 16 解答

貸付金と利息

当座預金	2,050	貸付金	2,000
		受取利息	50

資産の増加	2,050	① 資産の減少	2,000
		② 収益の増加	50

- ① 貸付金の回収 → 「貸付金」の減少
- ② 利息の受取 → 「受取利息」の増加
 $¥2,000 \times \text{年利率} 5\% \times 6 \text{カ月} \div 12 \text{カ月} = ¥50$

CHECK!

★利息額の計算 … 貸付額 × 年利率 × $\frac{\text{貸付期間}}{12 \text{カ月}}$

B

問題 17 解答

引出金

租税公課	300	現金	1,000
引出金	700		

① 費用の増加	300	資産の減少	1,000
② 引出金の増加	700		

- ① 営業用自動車の自動車税の支払 → 「租税公課」の増加
- ② 店主の所得税の支払 → 「引出金」の増加

CHECK!

★店主個人の負担となる所得税や固定資産税の支出時
→ 「引出金」の増加(または、「資本金」の減少)

A

問題 18 解答

減価償却

減価償却費	300	減価償却累計額	300
-------	-----	---------	-----

① 費用の増加	300	② 減価償却累計額の増加	300
---------	-----	--------------	-----

① $(¥1,000 - \frac{¥1,000 \times 10\%}{\text{耐用年数}}) \div 3 \text{年} = ¥300$

- ② 間接法 → 「減価償却累計額」の増加

CHECK!

★間接法 … 「減価償却累計額」に記帳し間接的に減額
⇔ 直接法 … 「備品」などの固定資産から直接的に減額

A

問題 19 解答

費用の見越

支払利息	60	未払利息	60
------	----	------	----

① 費用の増加	60	② 負債の増加	60
---------	----	---------	----

① $¥6,000 \times \text{年利率} 4\% \times \frac{3 \text{カ月}}{10 \text{月} 1 \text{日} \sim 12 \text{月} 31 \text{日}} \div 12 \text{カ月} = ¥60$

- ② 利息の支払は翌期 → 決算日現在未払 → 「未払利息」の増加

CHECK!

★費用の見越 … 費用の科目 / 未払〇〇(負債)

A

問題 20 解答

固定資産の購入

土地	6,000	当座預金	6,000
----	-------	------	-------

① 資産の増加	6,000	資産の減少	6,000
---------	-------	-------	-------

① $1 \text{m}^2 \text{あたり} ¥50 \times 100 \text{m}^2 + \frac{¥200 + ¥800}{\text{登記料、仲介手数料}} = ¥6,000$

CHECK!

★固定資産の取得原価には登記料などの付随費用を含める。

A

問題 11 解答

固定資産の売却

減価償却累計額	600	車 両	1,000
未収入金	500	固定資産売却益	100

① 減価償却累計額の減少	600	資産の減少	1,000
資産の増加	500	② 収益の増加	100

- ① 減価償却の記帳方法は間接法 → 「減価償却累計額」の減少
- ② 売却損益：仕訳の貸借差額より
または、 $¥500$ (売価) - $¥400$ (簿価) = $¥100$ (利益)

CHECK!

★間接法での「減価償却累計額」→ 「車両」などの固定資産のマイナスを表す → 売却時には減少

B

問題 12 解答

仮払金の精算

現金	300	仮払金	700
旅費交通費	400		

資産の増加	300	① 資産の減少	700
② 費用の増加	400		

- ① 仮払いしていた旅費の金額が確定 → 「仮払金」の減少
- ② 旅費の確定金額を記帳 → 「旅費交通費(旅費)」の増加

CHECK!

★旅費などの概算払い時 → 「仮払金」(資産)の増加
→ 金額が確定した時 → 「仮払金」の減少

B

問題 13 解答

仮受金の処理

仮受金	500	売掛金	500
-----	-----	-----	-----

① 負債の減少	500	② 資産の減少	500
---------	-----	---------	-----

- ① 仮受けしていた金額の内容が判明 → 「仮受金」の減少
- ② 判明した内容を記帳 → 「売掛金」の減少

CHECK!

★内容不明の入金時 → 「仮受金」(負債)の増加
→ 内容が判明した時 → 「仮受金」の減少

A

問題 14 解答

給料の支払

給料	8,000	預り金	800
		立替金	700
		当座預金	6,500

費用の増加	8,000	① 負債の増加	800
		② 資産の減少	700
		資産の減少	6,500

- ① 所得税の源泉徴収 → 「預り金(所得税預り金)」の増加
- ② 立て替えていた額の回収 → 「立替金(従業員立替金)」の減少

CHECK!

★所得税や立替金の控除前の額 → 「給料」(費用)
所得税や立替金の控除後の額 → 従業員の手取額

B

問題 15 解答

決算

試算表の保険料 ¥1,200 は当期の 8 月 1 日に保険契約を結び、向こう 1 年分の保険料を支払ったものである。
(決算日 12 月 31 日)

費用の繰延

仕訳の金額 → ¥700

問題 21

A

決算

前期の決算整理において計上した前払保険料 ¥700 につき、当期首に再振替仕訳を行った。

期首再振替仕訳

問題 26

B

決算

決算にあたって、貸付金 ¥4,000 の利息を見越計上する。なお、この貸付金は、当期の 4 月 1 日に、利息 (年利率 3%) は返済時 (翌期の 3 月 31 日) に受け取る条件で貸し付けたものである。
(決算日 12 月 31 日)

収益の見越

仕訳の金額 → ¥90

問題 22

A

決算

得意先新潟商店に商品 ¥6,000 (原価 ¥3,200) を売り上げ、代金のうち ¥2,000 は注文時に受け取った手付金と相殺し、残額は月末の受取りとした。なお、商品の発送費用 (先方負担) ¥500 を運送会社に現金で立替払いし、掛代金とは区別して計上した。

前受金と立替金

問題 27

A

決算

試算表の受取家賃 ¥3,600 は当期の 6 月 1 日に賃貸契約を結び、向こう 1 年分の家賃を受け取ったものである。
(決算日 12 月 31 日)

収益の繰延

仕訳の金額 → ¥1,500

問題 23

A

決算

営業活動で利用する電車およびバスの料金支払い用 IC カードに現金 ¥3,000 を入金し、領収証の発行を受けた。なお、入金時に全額費用に計上する方法を用いている。

旅費交通費

問題 28

B

決算

現金の実際有高が帳簿残高より ¥2,000 不足していたため、かねて現金過不足勘定で処理しておいたが、決算にあたりその原因を調査した結果、通信費の支払額 ¥2,050 が記入漏れであった。なお、残額については原因不明のため、雑益または雑損として処理することにした。

現金過不足の処理

問題 24

A

決算

店舗の駐車場として使用している土地の本月分賃借料 ¥5,000 が普通預金口座から引き落とされた。

支払地代

問題 29

B

決算

損益勘定の記録によると当期の収益総額は ¥2,000 で費用総額は ¥1,800 であった。この差額を資本金勘定へ振り替える。

当期純利益の計上

問題 25

B

決算

従業員 5 名の給料から源泉徴収していた 1 月から 6 月までの所得税合計額 ¥8,000 を、銀行において納付書とともに現金で納付した。ただし、この納付方法については所轄税務署より納期の特例を承認されている。

所得税預り金

問題 30

A

期首再振替仕訳

保 険 料	700	前 払 保 険 料	700
-------	-----	-----------	-----

- ① 費用の増加 700 / ① 資産の減少 700
- ① 前期末の決算整理仕訳の貸借反対仕訳
(前期末の仕訳…前払保険料 700 / 保険料 700 (問題 25))

CHECK!

★費用・収益の見越、繰延についての期首再振替仕訳
… 前期末の決算整理仕訳の貸借反対仕訳

B

問題 26 解答

前受金と立替金

前 受 金	2,000	売 上	6,000
売 掛 金	4,000		
立 替 金	500	現 金	500

- 負債の減少 2,000 / ① 収益の増加 6,000
資産の増加 4,000
② 資産の増加 500 / 資産の減少 500

- ① 注文時に受け取った手付金の充当 → 「前受金」の減少
② 商品の発送費用を立て替えた → 「立替金」の増加

CHECK!

★注文(受注)時に受け取った手付金 → 「前受金」
⇔ 注文(発注)時に支払った手付金 → 「前払金」

A

問題 27 解答

旅費交通費

旅 費 交 通 費	3,000	現 金	3,000
-----------	-------	-----	-------

- ① 費用の増加 3,000 / 資産の減少 3,000

- ① 電車及びバスの料金支払用 IC カードに入金
→ 「旅費交通費」の増加

B

問題 28 解答

支払地代

支 払 地 代	5,000	普 通 預 金	5,000
---------	-------	---------	-------

- 費用の増加 5,000 / ① 資産の減少 5,000

- ① 普通預金口座から引き落とされた → 「普通預金」の減少

B

問題 29 解答

所得税預り金

所 得 税 預 り 金	8,000	現 金	8,000
-------------	-------	-----	-------

- ① 負債の減少 8,000 / 資産の減少 8,000

- ① 源泉所得税の納付 → 「所得税預り金」の減少

CHECK!

★給料支払時の仕訳

給料	××	現金	××
		所得税預り金	8,000

A

問題 30 解答

費用の繰延

前 払 保 険 料	700	保 険 料	700
-----------	-----	-------	-----

- ② 資産の増加 700 / ① 費用の減少 700
- ① $¥1,200 \times \frac{7 \text{ ヵ月}}{12 \text{ ヵ月}} = ¥700$
翌期 1月1日～7月31日
- ② 7ヵ月分は翌期の保険料 → 決算日現在前払 → 「前払保険料」の増加

CHECK!

★費用の繰延… 前払〇〇(資産) / 費用の科目

決算
A

問題 21 解答

収益の見越

未 収 利 息	90	受 取 利 息	90
---------	----	---------	----

- ② 資産の増加 90 / ① 収益の増加 90

- ① $¥4,000 \times \text{年利率} 3\% \times \frac{9 \text{ ヵ月}}{12 \text{ ヵ月}} = ¥90$
4月1日～12月31日

- ② 利息の受取は翌期 → 決算日現在未収 → 「未収利息」の増加

CHECK!

★収益の見越… 未収〇〇(資産) / 収益の科目

決算
A

問題 22 解答

収益の繰延

受 取 家 賃	1,500	前 受 家 賃	1,500
---------	-------	---------	-------

- ① 収益の減少 1,500 / ② 負債の増加 1,500

- ① $¥3,600 \times \frac{5 \text{ ヵ月}}{12 \text{ ヵ月}} = ¥1,500$
翌期 1月1日～5月31日

- ② 5ヵ月分は翌期の家賃 → 決算日現在前受 → 「前受家賃」の増加

CHECK!

★収益の繰延… 収益の科目 / 前受〇〇(負債)

決算
A

問題 23 解答

現金過不足の処理

通 信 費	2,050	現 金 過 不 足	2,000
		雑 益	50

- 費用の増加 2,050 / ① 現金過不足の減少 2,000
② 収益の増加 50

- ① 決算 → 残高をゼロにする → 「現金過不足」の減少
(過不足発生時…現金過不足 2,000 / 現金 2,000)

- ② 原因不明の残額 → 貸借差額により、「雑益」の増加

CHECK!

★決算整理後の現金過不足勘定残高がゼロになるように仕訳
★原因不明の残額 → 「雑益」(収益)または「雑損」(費用)

決算
A

問題 24 解答

当期純利益の計上

損 益	200	資 本 金	200
-----	-----	-------	-----

- ① 損益の振替 200 / ① 純資産の増加 200

- ① 損益勘定の貸方残高 ¥200 を資本金勘定に振替
(収益総額 ¥2,000 - 費用総額 ¥1,800 = ¥200 … 当期純利益)

CHECK!

★当期純利益の計上… 損 益 ×× / 資本金 ×× (純資産の増加)
★当期純損失の計上… 資本金 ×× / 損 益 ×× (純資産の減少)

決算
B

問題 25 解答